

相愛大学研究シーズ集

シーズ名	サブカルチャーのファン行動と地域社会を結ぶ仕掛け・制度の可能性
所属	人文学部 人文学科
氏名	高木 学
【概要】	
<p>今日、サブカルチャーの一部、主にアニメの愛好者によって、聖地巡礼と呼ばれる、一種の観光行動が定着しつつある。これは人気となったアニメの舞台背景として使われた街・施設を訪れ、現実の風景・町並みに浸り、物語を味わい直すものとして、広まってきている。この観光行動は、受け入れる地域社会にとっても新たな観光資源として大きく注目される一方で、これまで観光地として全く注目されていなかった一般商店街・住宅街・生活道路などもファンの注目を集めることがあり、地元社会に違和感・当惑を持って受け取られている場合もある。また観光資源として考えた場合、アニメの多くは3ヶ月から6ヶ月の短期間で終了することが多く、一過性の要因に過ぎないという考え方もできる。</p> <p>こういった重層的・流動的な要因を多く含むサブカルチャー・アニメにおいて、ファンと地域社会の結びつきを考えることは、今後の地方の観光振興・地域活性化の中で大きな意味を持っている。アニメ聖地となった地域の住民側の対応・思惑、アニメファンの傾向・性向の分析を通して、アニメファンと地域社会のよりよい関係を考えていきたい。</p>	
キーワード	地域社会学